平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名　株式会社 デジタルガレージ　　上場取引所　大
コード番号　4819　URL　http://www.garage.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役CEO　(氏名) 林　郁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートストラテジー本部 管掌　(氏名) 曽田　誠　TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	6,297	26.4	302	―	665	211.2	610	285.8
23年6月期第2四半期	4,983	29.3	△181	―	213	―	158	―

(注)包括利益　24年6月期第2四半期　572百万円　(241.2%)　23年6月期第2四半期　167百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	2,856.16	2,853.89
23年6月期第2四半期	857.81	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	29,719	18,767	62.8	85,748.07
23年6月期	20,421	9,895	48.1	53,120.15

(参考) 自己資本　24年6月期第2四半期　18,675百万円　23年6月期　9,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年6月期	―	0.00			
24年6月期(予想)			―	1,000.00	1,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	24.7	1,350	896.5	2,500	157.0	2,100	133.1	9,729.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	219,084 株	23年6月期	186,224 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	1,284 株	23年6月期	1,284 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	213,908 株	23年6月期2Q	184,602 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)
・当社は、平成24年2月10日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、同日、TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、第１四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更したため、前年同期比較にあたっては前第２四半期連結累計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。変更の内容につきましては、「２．四半期連結財務諸表（５）セグメント情報等」に記載のとおりであります。

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による景気低迷から回復の兆しがみられるものの、欧州における財政危機を背景とした海外景気の下振れや円高の長期化の影響により、先行きは依然として不透明な状況となっております。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成23年９月末時点でブロードバンド契約数が約3,625万となるなど、若干鈍化傾向にあるものの継続的な拡大基調にあります。

このような事業環境の下、当社は「Social Media Incubator」として、新規メディアの創出とビジネスの世界展開に取り組んでおります。平成23年12月には米国子会社Digital Garage US, Inc.の完全子会社であるNew Context, Inc.（拠点：米サンフランシスコ）を設立致しました。同社はインキュベーション機能を担う戦略会社として、米国をはじめアジア・欧州のソフトウェア開発会社をグローバルにネットワークすることにより、日本で成功を収めてきた当社のインキュベーションビジネスを海外市場で展開していくことを狙っております。

当第２四半期連結累計期間におきましては、ハイブリッド・ソリューション事業が好調に推移したことから、当社グループの連結売上高は6,297百万円（対前年同期比1,314百万円増、同26.4%増）となり、営業利益は302百万円（前年同期は営業損失181百万円）となりました。また、持分法による投資利益の計上により、経常利益は665百万円（対前年同期比451百万円増、同211.2%増）となり、四半期純利益は610百万円（対前年同期比452百万円増、同285.8%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

〔ハイブリッド・ソリューション事業〕

ハイブリッド・ソリューション事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティング並びにEコマースにおける決済ソリューションの提供を行っております。決済ソリューションを提供するイーコンテクストカンパニーにおいては、コンビニ決済に加えて、クレジットカード決済にも注力していること、さらに「価格.com安心支払い」などの新サービスが順調に拡大していることから、決済取扱件数は増加を続けております。一方、広告・プロモーションを手掛けるディージー・アンド・アイベックスカンパニーは、ウェブマーケティング領域において成果報酬型広告の取扱いが引き続き拡大していることから、好調に推移致しました。

当第２四半期連結累計期間における売上高は5,077百万円（対前年同期比852百万円増、同20.2%増）、営業利益は528百万円（対前年同期比232百万円増、同78.3%増）となりました。

〔メディア・インキュベーション事業〕

メディア・インキュベーション事業におきましては、「Twitter」を活用した広告販売を中心事業として展開しながら、次なる新規メディアの開発に取り組んでおります。「Twitter」などの日本展開で培ったノウハウを活用したインポート型のメディア開発としましては、さまざまなソーシャルメディアに投稿したコンテンツを蓄積し、一元的に表示することで「自分史」を構築できるサービス「Memolane（メモレーン）」の日本語版を米Memolane社と共同開発し、公開致しました。また、自社メディアを活用した新サービスとしましては、連結子会社㈱ＣＧＭマーケティングが運営する「ツイナビ」と連動した「Twitter」対応のソーシャルアプリプラットフォーム「ツイナビアプリ」を開始致しました。

当第２四半期連結累計期間における売上高は650百万円（対前年同期比131百万円増、同25.4%増）、営業損失は42百万円（前年同期は営業損失117百万円）となりました。

〔ベンチャー・インキュベーション事業〕

ベンチャー・インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資・育成等を行っております。スタートアップ企業の育成支援と投資を行う事業「Open Network Lab」では、プログラムを終了したチームの中から、海外でのサービス展開を開始する企業が誕生するなどの成果をあげております。

当第２四半期連結累計期間における売上高は570百万円（対前年同期比330百万円増、同137.4%増）、営業利益は328百万円（対前年同期比182百万円増、同124.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べて8,788百万円増加し、23,133百万円となりました。この主な要因は、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が85百万円減少した一方で、公募及び第三者割当等における新株式発行に伴う払込が完了したことなどにより現金及び預金が5,877百万円、決済事業に係る金銭の信託が1,188百万円、未収入金が845百万円、営業投資有価証券の取得等により営業投資有価証券が954百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べて509百万円増加し、6,585百万円となりました。この主な要因は、償却によりのれんが88百万円減少した一方で、持分法による投資利益の計上等により投資有価証券が548百万円、新規取得等によりソフトウエアが90百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べて582百万円増加し、10,515百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済等により短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金が1,793百万円減少した一方で、決済事業等に係る預り金が2,463百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べて156百万円減少し、435百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済等により長期借入金が118百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べて8,872百万円増加し、18,767百万円となりました。この主な要因は、上場有価証券の時価評価等によりその他有価証券評価差額金が49百万円減少した一方で、公募増資及び第三者割当増資等に伴い、資本金が4,145百万円、資本剰余金が4,145百万円増加したこと、並びに四半期純利益の計上により利益剰余金が610百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、14,359百万円と前連結会計年度末と比べ7,088百万円（97.5%）の増加となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,038百万円（前年同期は125百万円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益671百万円に加え、イーコンテクストカンパニーの決済業務等における預り金の増加額2,463百万円等であり、支出の主な内訳は、営業投資有価証券の増加額1,007百万円、同決済業務等における未収入金の増加額844百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は297百万円（前年同期は18百万円の使用）となりました。

主な内訳は、無形固定資産の取得による支出170百万円、投資有価証券の取得による支出103百万円、有形固定資産の取得による支出22百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は6,333百万円（前年同期は428百万円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、株式の発行による収入8,244百万円等であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出（純額）1,630百万円、長期借入金の返済による支出281百万円等であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年６月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年８月11日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,784,822	10,662,369
金銭の信託	2,501,270	3,689,546
受取手形及び売掛金	1,466,303	1,380,565
営業投資有価証券	912,055	1,867,047
投資損失引当金	△9,200	△44,261
仕掛品	69,547	49,055
原材料及び貯蔵品	813	1,029
未収入金	4,351,131	5,196,199
その他	280,345	343,305
貸倒引当金	△11,704	△11,129
流動資産合計	14,345,384	23,133,729
固定資産		
有形固定資産	377,434	350,143
無形固定資産		
ソフトウエア	316,695	407,561
のれん	1,768,577	1,679,877
その他	17,404	16,937
無形固定資産合計	2,102,677	2,104,376
投資その他の資産		
投資有価証券	3,305,577	3,853,910
長期貸付金	695,484	188,435
その他	328,436	306,804
貸倒引当金	△733,736	△217,918
投資その他の資産合計	3,595,763	4,131,232
固定資産合計	6,075,875	6,585,752
資産合計	20,421,259	29,719,482

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,603	559,041
短期借入金	2,200,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	319,054	155,488
未払法人税等	46,371	76,735
賞与引当金	80,213	58,261
預り金	6,168,961	8,632,374
繰延税金負債	13,511	－
その他	564,700	463,807
流動負債合計	9,933,415	10,515,708
固定負債		
長期借入金	351,316	233,312
繰延税金負債	30,991	19,763
退職給付引当金	57,322	61,991
その他	152,708	120,911
固定負債合計	592,338	435,977
負債合計	10,525,753	10,951,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,872,120	6,017,283
資本剰余金	5,558,171	9,703,334
利益剰余金	2,398,722	3,009,678
自己株式	△69,840	△69,840
株主資本合計	9,759,174	18,660,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,866	15,597
為替換算調整勘定	－	△123
その他の包括利益累計額合計	64,866	15,473
少数株主持分	71,464	91,867
純資産合計	9,895,505	18,767,796
負債純資産合計	20,421,259	29,719,482

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	4,983,267	6,297,725
売上原価	3,824,547	4,600,988
売上総利益	1,158,720	1,696,737
販売費及び一般管理費	1,339,863	1,393,846
営業利益又は営業損失（△）	△181,142	302,891
営業外収益		
受取利息	8,660	7,272
受取配当金	3	204
持分法による投資利益	413,572	451,913
その他	12,401	5,421
営業外収益合計	434,637	464,811
営業外費用		
支払利息	23,823	12,539
為替差損	4,476	39,805
株式交付費	－	45,540
その他	11,431	4,647
営業外費用合計	39,731	102,532
経常利益	213,762	665,170
特別利益		
持分変動利益	18,918	14,740
固定資産売却益	11,715	－
特別利益合計	30,633	14,740
特別損失		
固定資産除却損	5,062	224
投資有価証券評価損	24,667	－
減損損失	22,157	7,936
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,055	－
特別損失合計	56,943	8,161
税金等調整前四半期純利益	187,453	671,750
法人税、住民税及び事業税	25,241	49,391
法人税等合計	25,241	49,391
少数株主損益調整前四半期純利益	162,211	622,359
少数株主利益	3,858	11,403
四半期純利益	158,352	610,955

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	162,211	622,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,728	△49,269
為替換算調整勘定	－	△123
その他の包括利益合計	5,728	△49,393
四半期包括利益	167,939	572,965
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,080	561,562
少数株主に係る四半期包括利益	3,858	11,403

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	187,453	671,750
減価償却費	43,398	39,685
ソフトウエア償却費	53,880	55,063
減損損失	22,157	7,936
のれん償却額	88,699	88,699
受取利息及び受取配当金	△8,664	△7,476
支払利息	23,823	12,539
為替差損益（△は益）	766	△13,358
株式交付費	－	45,540
持分法による投資損益（△は益）	△413,572	△451,913
持分変動損益（△は益）	△18,918	△14,740
投資有価証券評価損益（△は益）	24,667	－
売上債権の増減額（△は増加）	545,089	92,155
営業投資有価証券の増減額（△は増加）	△483,320	△1,007,429
投資損失引当金の増減額（△は減少）	－	35,061
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,033	20,274
未収入金の増減額（△は増加）	△642,677	△844,868
仕入債務の増減額（△は減少）	△572,963	4,631
未払金の増減額（△は減少）	10,170	△75,503
未払消費税等の増減額（△は減少）	23,434	△21,588
預り金の増減額（△は減少）	944,357	2,463,412
その他	56,753	△36,846
小計	△122,497	1,063,025
利息及び配当金の受取額	8,510	7,319
利息の支払額	△20,119	△10,049
法人税等の支払額	△2,305	△37,903
法人税等の還付額	10,574	16,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,836	1,038,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,493	△22,814
有形固定資産の売却による収入	24	－
無形固定資産の取得による支出	△35,806	△170,773
投資有価証券の取得による支出	△19,067	△103,249
貸付けによる支出	△2,100,000	△600,000
貸付金の回収による収入	2,101,532	600,392
敷金及び保証金の回収による収入	51,976	587
その他	△6,165	△1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,999	△297,217

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,300,000	1,550,000
短期借入金の返済による支出	△3,530,000	△3,180,000
長期借入金の返済による支出	△180,570	△281,570
株式の発行による収入	－	8,244,784
配当金の支払額	△2,086	△546
その他	△15,405	573
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,061	6,333,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△766	13,234
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△573,664	7,088,163
現金及び現金同等物の期首残高	7,875,910	7,271,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,302,246	14,359,939

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ハイブリッド・ソリューション事業	メディア・インキュベーション事業	ベンチャー・インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,389,840	353,275	240,151	4,983,267	―	4,983,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,807	12,433	―	15,240	△15,240	―
計	4,392,648	365,708	240,151	4,998,508	△15,240	4,983,267
セグメント利益又は損失（△）	298,782	△120,104	146,764	325,442	△506,585	△181,142

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△506,585千円には、セグメント間取引消去47,773千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△554,359千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項
連結子会社であります㈱テクノラティジャパンは、平成22年９月30日付で㈱ＤＧストラテジックパートナーズへと商号変更し、当第２四半期連結会計期間より「メディア・インキュベーション事業」から「ベンチャー・インキュベーション事業」へと事業内容を変更しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。
（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。
（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ハイブリッド・ソリューション事業	メディア・インキュベーション事業	ベンチャー・インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,077,490	650,018	570,216	6,297,725	―	6,297,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,794	10,450	―	16,245	△16,245	―
計	5,083,285	660,468	570,216	6,313,971	△16,245	6,297,725
セグメント利益又は損失（△）	528,978	△42,106	328,952	815,824	△512,933	302,891

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△512,933千円には、セグメント間取引消去55,449千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△568,383千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、グループ各社、各部門との連携を強化し、より有機的にメディア・インキュベーション事業の拡大を図るため、当社内にメディアインキュベーション本部を新設したことに伴い、従来「ハイブリッド・ソリューション事業」に含まれておりましたメディア関連事業を「メディア・インキュベーション事業」に変更しております。

なお、変更後の区分による前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、以下のとおりであります。

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年７月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ハイブリッド・ソリューション事業	メディア・インキュベーション事業	ベンチャー・インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,224,891	518,224	240,151	4,983,267	―	4,983,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,807	12,433	―	15,240	△15,240	―
計	4,227,699	530,657	240,151	4,998,508	△15,240	4,983,267
セグメント利益又は損失（△）	296,620	△117,942	146,764	325,442	△506,585	△181,142

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△506,585千円には、セグメント間取引消去47,773千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△554,359千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年７月19日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,528,000千円増加しております。また、平成23年８月９日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ504,000千円増加しております。

主にこれらの結果、第１四半期連結会計期間において資本金が4,145,163千円、資本準備金が4,145,162千円増加し、当第２四半期連結会計期間末において資本金が6,017,283千円、資本準備金が6,110,029千円となっております。